

このたびは JtagLink をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この製品をはじめてお使いになる前に [梱包内容] の確認と取扱い説明書をお読みください。最新の全ての資料はホームページ [www.dgway.com](http://www.dgway.com) に掲載されています。

[ 梱包内容 ]

JtagLink 本体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1ケ  
ユーザ ID とパスワードが捺印されているラベル・・・・・・・・ 1枚 (本紙貼付け)  
取扱い説明書・Q&A 集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1枚 (本紙)

## Q & A 集

Q 1 : JtagLink ソフトウェアのダウンロードが上手くいかない。何をチェックすれば良いか？

A 1 : ソフトウェアのダウンロード先の URL が以下であるか再確認してください。

<http://www.dgway.com/JtagLink> <=J と L は大文字です。ダウンロードにはユーザ ID とパスワードが必要です。これは JtagLink 製品パッケージに同梱されています。

Q 2 : JtagLink モジュールが JtagLink ソフトウェアから認識されない。何をチェックすれば良いか？

A 2 :

- (1) ダウンロード・ケーブルとしてパソコンの平行ポートに Altera 製 ByteBlaster(BB)MV か BB2、もしくは Xilinx 製 ParallelCable(PC)3 か PC4、が正しく接続されていることを確認してください。3.3V に非対応のものや USB ポート接続のケーブル(MasterBlaster / MultiLynx) には対応しておりません。
- (2) ダウンロードケーブルが JtagLink の Host コネクタと正しく接続されていることを確認してください。ケーブルと JtagLink の接続についてはデータシート [JL-DS01]を参照してください。
- (3) JtagLink がユーザ基板に正しく接続されていることを確認してください。ユーザ基板との接続についてはデータシート [JL-DS01] を参照してください。
- (4) ユーザ基板から JtagLink に対して+3.3V 電源が正しく供給されていることを確認してください。JtagLink は+3.3V 以外ではお使いになれません。
- (5) OS が Windows2000/XP の場合、デバイスドライバ[IoDrv.sys]が正しくインストールされているか確認してください。

Q 3 : コンフィグレーションが失敗し LED が赤色に発色している。何をチェックすれば良いか？

A 3 :

- (1) ソフトウェアで指定したチェーン情報がユーザ基板と一致しているかを、ソフトウェアの[PC 実行] – [JTAG 確認]メニューで確認してください。
- (2) コンフィグレーション・データが正しいことを、ソフトウェアの[PC 実行] – [PC コンフィグ]メニューで確認してください。
- (3) ユーザ基板の JTAG 信号にて、TCK と TMS 信号の配線パターンが適切であることを確認してください。TCK パターンは JtagLink 接続部を起点とした一筆書きのパターンである必要があります。また、TCK の最遠端に数百 ~ 1K 程度の Pull-Up または Pull-Down 終端抵抗を実装することを推奨します。
- (4) [実行] – [ベリファイ]メニューを実行し書き込んだデータが正しいことを確認してください。
- (5) JtagLink ソフトウェアを一旦終了し、メーカー純正ツールの Quartus または iMPACT により、ユーザ基板への直接 JTAG コンフィグレーションが正しくできるかをチェックしてください。メーカー純正ツールで正常にコンフィグレーションできる場合には、info@dgway.com にお問い合わせください。

Q 4 : JtagLink の長さ (高さ) の為、JtagLink をユーザ基板に装着しラックに入れたいのが入らない。何かよい方法はありますか？

A 4 : JtagLink 接続時の高さを抑えるため、延長ケーブル(FLA-CABLE)をオプションとしてご用意しております。ご利用ください。

Q 5 : JtagLink ソフトウェアでの書込みやベリファイで通信エラーが発生する。何をチェックすれば良いか？

A 5 :

- (1) ソフトウェアによる JtagLink への書込み/ベリファイ/チップ消去の実行中は、パラレルポートをアクセスするソフトウェア(Quartus/iMPACT 等)をアイドル状態のままとし、動作させないでください。さらにパラレルポートの GuardKey をアクセスするソフトウェアも動作させないでください。
- (2) パラレルポートをアクセスするデバイスドライバがインストールされていないか確認してください。デバイスドライバによっては、定期的にパラレルポートをスキャンするものがあり、通信エラーが発生します。(一部のプリンタ・ドライバに本不具合を発生させるものがあります。)
- (3) OS が Windows2000/XP の場合、パソコンの起動から最初に JtagLink を認識してから数分間、OS の Plug&Play 機能によりパラレルポートをスキャンする場合があります。この場合 OS によるスキャン動作が終わるまで数分程度待ってください。

以上